

北区中学生及び高校生のための

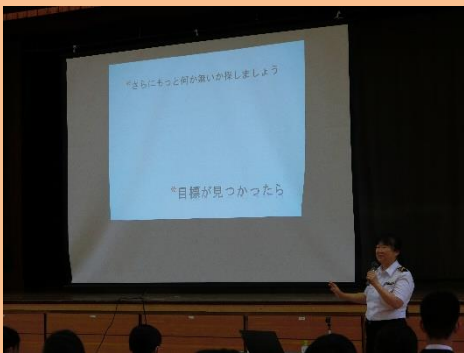
職業教育キャリアバン事業

将来あらゆる分野の職業にチャレンジできるよう、様々な分野で活躍している講師を中学校・高等学校に派遣し、職業を選択した経緯、方法、仕事への情熱とやりがい、苦心などをお話しいたします。お話を通して具体的に明確な職業イメージを持つことができるように実施し、職業選択の一つの参考となるような講座です。

令和5年度事業実績

(今年度の実施校は、9校です)

堀船中学校 6月6日(火) 小田嶋 良 さん(パイロット)



<生徒の感想> (抜粋)

- ・前例のない女性パイロットになる道を選び、つらいこと苦しいことがたくさんあったと思う。それでも諦めず夢を実現させたという話を聞き、諦めない大切さを改めて学べた。
- ・小田嶋先生のように、諦めずに好きなことを続けていきたいと思った。
- ・諦めない大切さを学んだ。私も頑張りたいと思えた。

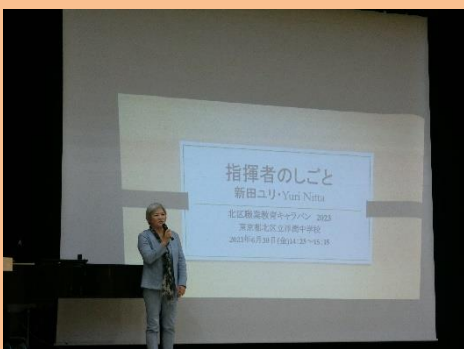
都立桐ヶ丘高等学校 6月16日(金) 久常 涼さん(消防士)



<生徒の感想> (抜粋)

- ・全体の消防隊員の中で女性隊員が思っていたよりも少なかったが、増えてきていることがわかった。
- ・消防士は救助など力仕事だというイメージが強かったが、コミュニケーションが必要など、色々な能力が必要だとわかった。
- ・消防士の仕事にも子育てのための勤務制度があることに驚いた。
- ・今しかできない経験をして興味を広げていきたいと思った。

浮間中学校 6月30日(金) 新田 ユリ さん(指揮者)



<生徒の感想> (抜粋)

- ・新田さんのおかげで指揮者の仕事について、たくさんを知ることが出来ました。
- ・指揮者として大勢の人の心をひとつにまとめるために何十日も何か月も考え、自分と向き合うこともあると聞いてすごいと思った。
- ・夢を叶えるために努力をしたからこそ、指揮者としての今の姿があるんだなぁと感じました。

私立武蔵野中学校 7月14日（金） 五十嵐 久枝さん（インテリアデザイナー）



<生徒の感想>（抜粋）

- デザインの仕事は、幼稚園であればそこで遊ぶ子供のことを考えるなど、人の気持ちを考えるお仕事なのだと思った。
- インテリアデザイナーの仕事は私たちの生活に関りが無いと思っていたけれど、身近ないろいろな所で関わっていると思った。
- まずは、自分の部屋を自分なりにデザインしてみたいと思いました。

桐ヶ丘中学校 10月13日（金） 鈴木 啓美さん（フェアトレード）



<生徒の感想>（抜粋）

- 様々な外国に行って経験したことがフェアトレードの仕事をすることに結び付くなんて人生何があるのかわからないと思った。
- フェアトレードのお仕事は、消費者・製造者が幸せになるだけでなく、環境にもよいことがわかった。
- フェアトレードのお話を通して、人を大切にすることについて改めて考えることができました。

神谷中学校 11月17日（金） 篠原 奈緒子さん（照明設計）



<生徒の感想>（抜粋）

- 「大人になっても勉強は続いていくもの」という篠原さんの言葉を聞いて、自分の好きなことを追求して、さらに職として活かすには、日頃の努力の積み重ねが大切だと改めて思いました。
- 将来自分が輝ける職業に就くためにも、興味のあるものは自分が納得いくまで究めたいです。
- 育児も仕事も勉強も諦めないところがカッコいいと思った。

十条富士見中学校 12月2日（土） 郡司 芽久さん（研究者）



<生徒の感想>（抜粋）

- 郡司先生の話聞いて、進路について、そんなに焦ることはない、自分のペースで進めばいいんだと思うことができました。
- 郡司先生のお話を聞いて、これからは自分の好きなものを聞かれたら、素直に答えようと思いました。
- 自分の考えだけではなく、色々な人たちの話を聞き、自分の知識に取り入れているのがいいと思った。

明桜中学校 12月9日(土) 郡司 芽久 さん(研究者)



〈生徒の感想〉(抜粋)

- 「無駄なことをやった方がいい」と言っていましたが、それは決して無駄ではないことがわかった。
- 生きる上で大切なことを話してくれたのでいい機会でした。
- 内容が、キリンの話というより、キリン研究をしてきた中で気づいたこと、大切にしてきたこと、伝えたいとこだわったので、面白く聞きやすい講演でした。

都立飛鳥高等学校 12月19日(火) 大塚 紀子 さん(鷹匠)



〈生徒の感想〉(抜粋)

- ライフワークのお話では、得意なことや苦手なことではなく、「今、やりたいこと」で決めるということが、印象に残っています。
- 将来の夢について改めて考えるきっかけとなったので、とても意義のある授業でした。
- 「興味のない事の中にも学びがある」という言葉が印象的で今は無意味に思える事の中にも価値を見出すことが大切だと感じた。